

令和5年1月26日

能代市教育委員会
1月定例会会議録

能代市教育委員会

令和5年1月26日、能代市教育委員会定例会を能代市役所新庁舎3階会議室9・10において、午後2時に開会した。

○出席の委員は、次のとおりである。

| | |
|-----|-------|
| 教育長 | 高橋誠也 |
| 委員 | 木村高寛 |
| 委員 | 西村省一 |
| 委員 | 中嶋佐千子 |
| 委員 | 寺田恵美子 |

○説明のため出席した者は、次のとおりである。

| | |
|-------------------------|-------|
| 教育部長 | 伊藤勉 |
| 教育部次長 | 関俊英 |
| 教育総務課長 | 柳谷敬 |
| 能代教育事務所長 | 本間将 |
| 学校教育課長 | 矢田部瑞穂 |
| 学校教育課参事 | 三洲龍太 |
| 学校給食センター所長 | 工藤久美子 |
| 生涯学習・スポーツ振興課 文化財保護室長 | 山崎和夫 |
| 教育総務課長補佐 | 秋林純 |

○オブザーバーとして参加した者は、次のとおりである。

| | |
|-----------|------|
| 学校教育課指導主事 | 藤田元之 |
| 学校教育課指導主事 | 大山祐子 |

○本日の会議に付した事件

| | |
|------|-------------------------|
| 日程第1 | 会期の決定 |
| 日程第2 | 会議録署名員の決定 |
| 日程第3 | 前回定例会会議録の承認 |
| 日程第4 | 教育長報告 |
| 日程第5 | 議事 承認第1号 臨時代理の承認について |
| 日程第6 | その他 |

【日程第1 会期の決定】

○教育長

本定例会の会期は、本日1日限りとし、会議時間を午後4時までとする。

【日程第2 会議録署名員の決定】

○教育長

会議録署名員に、5番中嶋委員と6番寺田委員を指名する。

【日程第3 前回定例会会議録の承認】

○教育長

委員の皆さんから異議がないので、前回12月定例会会議録を承認する。

【日程第4 教育長報告】

○教育長

前回定例会以降の行事等について報告。

- 12月22日(木) 教育委員会定例会 (二ツ井町庁舎 庁議室)
- 12月23日(金) 教師ミニミニ体験閉講式 (新庁舎 会議室9・10)
- 12月26日(月) 白老町教育長との視察報告オンライン懇談 (二ツ井町庁舎 庁議室)
- 1月5日(木) 2023年新春のつどい (プラザ都)
- 1月7日(土) 第23回能代市芸術文化章授章式 (能代市文化会館 中ホール)
- 1月7日(土) 第22回教育長杯ミニバスケットボール交流大会
(~1/8 能代市総合体育館)
- 1月12日(木) 令和4年度第2回文化会館運営協議会
(能代市中央公民館 第2研修室)
- 1月12日(木) 令和4年度第2回公民館運営審議会
(能代市中央公民館 第2研修室)
- 1月17日(火) 市議会全員協議会 (新庁舎 議場)
- 1月18日(水) 生涯学習推進協議会 (能代市中央公民館 第2研修室)
- 1月18日(水) 能代市立図書館協議会 (能代図書館 集会室)
- 1月19日(木) 子ども館運営協議会 (子ども館)
- 1月23日(月) 第15回B&G全国サミット (~1/25 東京ビッグサイト)
- 1月26日(木) 教育委員会定例会 (新庁舎 会議室9・10)
- 1月30日(月) 第1回教育長面接：県教育委員会 (山本地域振興局)
- 1月31日(火) 青少年問題協議会幹事会 (新庁舎 会議室9・10)
- 2月1日(水) 令和4年度秋田県都市教育長協議会：教育長・関係課長会議
(あきた芸術劇場ミルハス)
- 2月2日(木) 社会教育委員の会議 (新庁舎 会議室9・10)
- 2月8日(水) 令和4年度能代市校長会第4回校長研修会 (向能代小学校)
- 2月9日(木) 令和4年度教職員人事評価面談：各小学校 (二ツ井町庁舎 庁議室)
- 2月10日(金) 令和4年度教職員人事評価面談：各中学校 (二ツ井町庁舎 庁議室)
- 2月10日(金) 令和4年度第5回能代市スポーツ推進委員会 (シャトー赤坂)
- 2月13日(月) 令和4年度能代市教育研究所運営協議会 (二ツ井町庁舎 大会議室)
- 2月14日(火) 能代市栄光賞授与式 (能代市総合体育館)
- 2月15日(水) 第2回教育長面接：県教育委員会 (山本地域振興局)

2月16日(木) 令和4年度第2回能代市立小・中学校事務共同実施推進協議会

(二ツ井町庁舎 庁議室)

2月17日(金) 教育委員会定例会 (二ツ井町庁舎 大会議室)

【日程第5 議事】

○教育長

「承認第1号 臨時代理の承認について」説明を願う。

○学校教育課長

専決処分した損害賠償の額を定め和解することの報告について《資料により説明》

○中嶋委員

車両の損傷及び運転者へ負傷を負わせたとのことだが、現在、運転者のけがの具合はどうか。

○学校教育課長

けがをされた方は、現在、完治している。何度か会いに行ったが、元気になったとの言葉をいただいている。

○教育長

異議がないので、「承認第1号」を承認する。

【日程第6 その他】

○教育長

「その他」について

各課から 報告事項や連絡事項があれば、願います。

○教育総務課長

令和4年度能代市総合教育会議議事録について《資料により説明》

○学校教育課長

令和4年度県学習状況調査の能代市分析結果について《資料により説明》

○教育長

質問等をお願いする。

○教育長

質問等がないようなので、質疑を終了する。

続いて、委員から本日の議事や報告事項等以外で、意見等があれば、発言をお願いする。

○木村委員

小学校へ入学する前に、子どもたちの健康や性格等の診断機会があろうかと思う。その際に子どもが発達障害の傾向が見受けられた場合、いきなり病院での診断というのではなく、その中間で保護者が相談できる、やわらかな機関というか段階を踏んで相談できる機関はないか。保護者にとって、直接病院というのは敷居が高すぎるというイメージがあるようで、そういう機関があれば、一度相談に行き、また、必要であれば医療関係に行くというようなシステムがあれば良い、という意見をいただいた。

また、発達障害の一つである多動症の症状は、急に走り出すといった行動があるが、子ども自身の意識以外のところでの行動であり、自分でも分かっていない。それを叱られる

と、なぜ叱られているのか分からず、また、それが原因でいじめの対象になったりということもあろうかと思う。そういった子どもの性格等を把握し、入学できるような環境、体制について教えていただきたい。

○学校教育課長

能代市では、そういった子どもへの支援体制が特に整備されているものと考えている。具体的には、5歳児親子相談においては、一人一人検査した後、個別に相談できる体制を整えている。また、園を回って相談に乗ったり検査したりする統括コーディネーターやアドバイザーを配置し、必要に応じた対応をしている。

また、入学前に集団活動に慣れるため、「幼児通級指導すてっぷ」を設置しており、ここでは、小学校の疑似体験ができるなど、発達障害等を心配する保護者や子どもについて、相談できる体制は整えられているものとする。

○教育長

5歳児親子相談や教育支援委員会等のこと、「すてっぷ」の開催状況について、入学直前になってから実施するものではないということの説明願う。

○学校教育課長

5歳児親子相談は毎月、誕生月に検査や面談をしている。就学時健診は、6歳児を対象に10月から11月頃に健診や検査をし、不安のある子どもや保護者に対しては、個別に面談を行い、12月頃まで継続して小学校につなげている。

教育支援委員会は11月中旬に行われ、そこで一人一人、支援が必要である子どもについて、話し合いの時間を持っている。

「すてっぷ」は、月2回、教室に通って少人数グループ学習体験により、集団活動ができるような体制を整えている。

○教育長

補足するが、1年以上前から様々なケースで実施していることはご理解いただきたい。子どもに障害が見受けられるとして直ぐに病院を案内することはないのだが、そのように受け取る方もいるというご意見があるならば、十分注意して事を進めていかなければならないと考えている。

特別支援の統括コーディネーターの配置は、県内でも特異な試みである。統括コーディネーターは、能代市山本郡三町の学校を回り、相談に乗ったり検査したりすることを専門にやっていたキャリアをもつ方を配置している。

その他、「すてっぷ」については、幼稚園で集団に馴染めない子どもが、小学校に行く前に、小学校生活に馴染めるよう月1、2回、机、椅子に座って学習することに慣れさせる取り組みをしており、並行して、幼稚園と小学校の連携強化を図っている。

○寺田委員

先月の総合教育会議で、中嶋委員から、発達障害が小中学校で全体の8.8%だという話があったが、私も日頃、幼稚園で子どもたちを相手にしていると、そういった子どもたちが何か増えているような感じが伺える。それは単に発達障害だけなのか、または、家庭での保護者との関係性のギャップというか、経験がなかったり、人との関わりが乏しいといったことが要因にあるのでは、と感じている。能代市の場合も、そういった子どもたちが増えてきているのだろうが、説明のあった検査、相談体制があるので、早期に発見し適切に対応できているという印象もある。傾向として、そういった子ども達が増えているのか、ご教示願う。

○学校教育課長

周知徹底が図られたこともあるが、児童生徒数が減っているにもかかわらず、支援員を必要とする児童生徒数が年々増えている点で、そういったことから困り感のある子どもが増えていることを実感できる。

原因について、何かはっきりしたものはないが、家庭の関わりもとても大事になってくると思うので、5歳児親子相談の際に、家庭教育相談員が保護者に対して説話をしたり、統括コーディネーターが保護者向けのお便りを出したりするなど、啓発に努め、継続することで、学校と家庭や地域が一体となった子育てにつながることを期待している。

○教育長

他に、意見等がないようなので、終了する。

以上で予定された事項は、すべて終了した。

次回の定例会は、令和5年2月17日午後2時から、能代市役所二ツ井町庁舎2階大会議室において開催したい。

本日の定例会を閉会する。

午後2時30分閉会